





ボランティア入門講座

日時	毎月第4土曜日 ①10:00~12:00又は②13:30~15:30												
講師	当センターボランティアコーディネーター												
形態	講義及び事例報告												
参加者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	27人	8人	12人	9人	19人	10人	8人	13人	11人	9人	—	—	126人
満足度	81.8%	75%	66.6%	100%	81.3%	60%	100%	88.8%	77.7%	87.5%	—	—	81.9%
目的	ボランティア初心者または未経験者が、本講座を通してボランティア活動に必要な基礎的知識及び情報を習得することで、ボランティア活動をより身近なものとして理解し、今後のボランティア活動のきっかけとしてもらう。												
概要	前半にガイダンスを行い、ボランティアの心構えなどを分かりやすく解説した後、実際に活動している団体や個人の事例報告、対談を行った。後半のフリートークでは当センターのボランティアコーディネーターも交えて参加者同士が思いや考えを共有でき、市民公益活動への思いを高めることができた。また、終了後には参加者からの相談もあり、市民公益活動へのすそ野を広げることができた。												
アンケート調査結果							会場の様子						
<ul style="list-style-type: none"> • ボランティアについてははっきりしたイメージを持つことができた。 • 自宅から近いところにあり、これからは機会あるごとにセンターに立寄りたい。 • ボランティアについて、今まで触れていなかった部分を知ることができた。 • 今まで自分が生きてきた中で、経験した事柄などが、誰かのお役に立てたらという思いで受講した。 • フリートークで生の声が聞けて良かった。 <p>ボランティアをどのように見つけたらよいのか、糸口がずっとつかめずにいたので、センターの存在を知って良かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボランティアを少し軽く考えすぎていたように思う。本日参加してよかった。 • ボランティアの意義とか、実際の活動とかよくわかった。 • 実際にボランティア活動をされている方や関心のある方のお話が聴けてよかった • 自分のできるボランティアを見つけて活動しようと思った。 • 活動したくなった。 • ボランティアを選ぶ間口が広くなり、勉強になりました。 							   						

親子ボランティア入門講座

日時	平成28年12月10日(土) 10:00~12:00
講師	当センターボランティアコーディネーター
形態	講義及び年賀状カードづくり
参加者	4名(児童1名、大人3名) ※参加予定の児童が風邪による体調不良のため、保護者のみ参加もOKとした。
満足度	基礎講座「ボランティアってなに?」:100% 年賀状カードの制作:100%
目的	保護者と児童(小学生以上)を対象として、親子で気軽に楽しくボランティア活動に親しんでいただくための「きっかけづくり」を促進するため、開催。また、ボランティアに関する基本的な知識や考え方を学ぶと同時に、体験として福祉施設の高齢者に対し年賀状カードを作成することで身近なボランティアを体験してもらう。
概要	手作りの折り紙を貼った、メッセージ入りの年賀状カードを制作します。完成した年賀状カードは、市内の福祉施設にいる高齢者の方々へプレゼントし、後日カードを受け取った高齢者の方々から寄せ書きのお返事が届く予定です。

アンケート調査結果

【講座の感想】

・ボランティアは自分でやりたいと思わないとボランティアということにならないとはじめて知りました。私は最近、福祉体験をしました。障がい者のために人はこんな助けをしていると知って、良いことをしているんだなと思いました。また、(年賀状カードを贈る)相手のためにどのようなものをつくるのか考えるかをするのがとても楽しかったです。(児童)

・わかりやすい説明で参加して良かったです。(大人)

・講座の説明も、折り紙の説明も丁寧に、口調もゆっくり教えて下さり、とてもわかりやすかったです(大人)

・こんなふうに講座をされているんだと知れてよかったです。勉強になりました！子どもにもさせたいボランティアが見つかると思います！！(大人)

【ボランティアに興味を持ったきっかけ】

・ボランティアと言われて想像するのは「大変なこと」「むずかしいこと」と思っていました。でも、身近にあるボランティアインフォメーションセンターを知り、ボランティア活動されている人たちの話を聞いたりすると、楽しそうだな、やってみたいな、という気持ちになりました。(大人)

会場の様子



↑年賀状カード作成の様子

↓完成した年賀状カード



市民公益活動入門講座（NPOマネジメント実践講座）

日時	【第1回】平成28年9月24日(土)【第2回】平成28年10月29日(土)【第3回】平成29年12月3日(土)		
講師	川中大輔氏（NPO法人 シチズンシップ共育企画代表）		
形態	講義及びワークショップ		
参加者	第1回	第2回	第3回
	4	4	3
満足度	記述式のアンケートを用いたため未測定		
目的	本講座では単発のテクニックには焦点を当てず、団体の課題意識や環境の分析、ターゲット設定などを経て計画を立案し、それを実践して評価を得るPDCAサイクルをまわすことに主眼を置いている。		
概要	総合的なマネジメントを実施するために必要な知識や技術についての講義を経た後、立案した計画を実行してもらう。		



アンケート調査結果

- ・これからどのように活動を展開していけばよいかのイメージがはっきりした。
- ・人材育成のために自分の団体のことや、団体に入ったきっかけなどを振り返ることが必要であり、気づくこともあった。時間がないと自分でやってしまう部分もありますが、少しずつ役割を引き継いでいけるように整理していければと思う。
- ・新しい方には知識を増やしてもらうとともに、状況に応じた心の支援をしていけるようにと思う。メンバーには、少しずつ自分の役割を整理してしてもらえればと思う。
- ・“Small Step” あれもこれもと思わずできることからコツコツはじめてみたい。
- ・引き継ぐことは、自分のコピーを作るわけではないことが分かった。
- ・目からウロコで新鮮だった。
- ・役割を引き継いでいく際には、自分がしていたことの全てを委ねるのではなく、得意分野に振り分けて人材配置することもありだと学べた。

会場の様子



専門家相談会～NPOのためのデザイン無料相談～

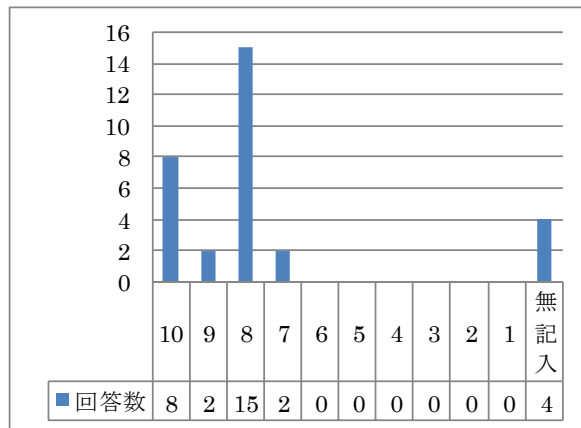
日時	【第1回】5月27日(金) 【第2回】7月 2日(土) 【第3回】9月23日(金) 【第4回】11月12日(土) 【第5回】1月27日(金) 【第6回】3月11日(土)	
講師	林田全弘さん(小さなNPOを応援するデザイナー)	
形態	相談会	
参加者	18団体	
満足度	記述式のアンケートを用いたため未測定	
目的	専門家を招き、団体に対して主に広報活動についてのアドバイスを行うことで、団体の情報発信力の向上を促進する。	
概要	団体が運用しているウェブサイトやチラシ、パンフレットなどの改善点についての個別相談に応じ、アドバイスを行う。	
	アンケート調査結果	会場の様子
	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシのチェックポイントや色使い、読者の声を積極的に利用することを、次回作成するチラシに反映させていきたい。 ・ホームページをリニューアルする前にまず課題や目的をどうするというを文字に書いて表すことが大切であることが分かった。 ・他の団体のホームページを参考にするとよいことを知れた。一度に手直しするのではなく段階的に取り組むことにしたい。 ・見る人にとってわかりやすいキャッチコピー、実際の利用者の声の記載、裏面の利用、見出しの活用方法などが勉強になった。 ・広報物をつくる前に、目的を言葉で表すことが大切だと感じた。 ・ブログ作成のための方法が参考になった。 ・見る人の立場に立つということ、イラスト集の無料ソフトについての情報が役に立ちそうに感じた。 ・チラシの中どのような情報を載せればよいか分かった。 ・見やすいレイアウトについて勉強になった。 ・紙面の使い方、情報の入れ方が参考になった。 ・レイアウト、効果的な見せ方など、どれも伺ってよかった。まず作成してみようと思う。 	 

テーマ別サロン Ver.1 異文化共生～「日本語を教える」から見えてくるコト～

日時	平成28年8月20日（土）13：30～16：00
講師	岩澤和宏さん（国際交流基金関西国際センター 日本語教育専門員）
形態	講義、関係団体から活動報告、情報・意見の交換と交流
参加者	37名
目的	奈良市内に「日本語の指導」あるいは「異文化共生」をテーマに活動している幾つかの団体があるが、団体間の交流は活発とはいえないのが現状である。これらの団体の活動を支援し交流の場を提供することで、団体間の連携を促したい。
概要	日本語教育の第一人者である岩澤和宏氏（国際交流基金関西国際センター 日本語教育専門員）を招聘し、外国人（異文化の方）への日本語の教え方について講義をしてもらう。“日本語を教える”という切り口から見えてくる「異文化共生」の現状と課題について、関係団体と関心を持つ市民による情報や意見の交換（参加人数によってはワークショップ）を行った。

アンケート調査結果

テーマ別サロンについて、最高(よかった)を10、最低を1(よくなかった)



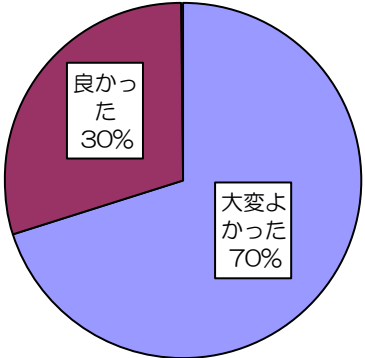
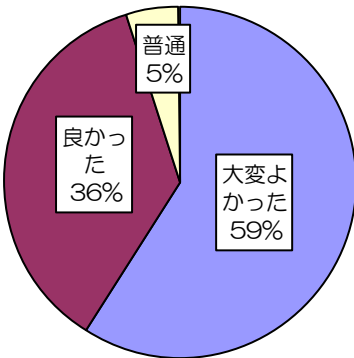


会場の様子






【参加者の声】

- ここに来れば奈良のボランティアのことがわかるという場所があるのは、とても嬉しいです。ボランティアの代表者ばかりが集まる会とか開催していただけたら、意見交換してみたいです。
- 全体的な時間はちょうどよかったと思いますが、各団体の報告の時間がもっとあれば、もっと詳しい報告がきけるのではと思いました。

折り紙ボランティア研修会&活動

研修会	①平成28年4月14日(木) ②5月10日(火) ③6月11日(土) ④7月10日(日) ⑤8月10日(水) ⑥9月10日(土) ⑦10月4日(火) ⑧11月7日(火) ⑨12月4日(日) ⑩平成29年1月14日(土) 時間帯：9：30～11：30 ※③は13：30～15：30				
講師	当センターボランティアコーディネーター及び事前研修済みの参加者（延べ46名）				
形態	研修実習及びボランティア活動				
参加者	研修参加者：延べ266名、ボランティア活動参加者：延べ164名				
満足度	研修会：100%、ボランティア活動：95%				
内容	季節の折り紙や団体から要請されるテーマの折り紙の研修及び折り紙講習会での指導。 子育て支援・まちづくり・国際交流・観光・高齢者向けのイベント等での講習会や作品づくり（計24回）				
アンケート調査結果			会場の様子		
研修に参加して		ボランティア活動に参加して		研修会の様子	ボランティア活動の様子
 <p>良かった 30% 大変よかった 70%</p>		 <p>普通 5% 良かった 36% 大変よかった 59%</p>			
【参加者の声】			【ボランティア依頼者や講習会の参加者】		
<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら社会貢献ができ満足だ。外国人とふれあう機会もあり刺激になる。 ・自分自身の老化防止になり、楽しみが増えた。互いに教え合うのが良い。 ・病院や地域で、折り紙ボランティアの講習会で学んだことが活かせてうれしい。 ・毎月の講習会が楽しみでお友達もできた。 			<ul style="list-style-type: none"> ・折り紙ボランティアは、なかなか探してもないので貴重だ。続けて欲しい。 ・丁寧で親切な対応で、折り図を見ておるのは難しいが、直に教えてもらえるのがありがたい。 ・小さな子どもがいて、家ではできないことを体験でき、作品が自宅に持ち帰って飾れるのがうれしい。良い気分転換になっている。 		

センター登録団体協働事業～コミュニケーション力&表現力向上ワークショップ～

日 時	【第1回】平成28年6月26日(日)【第2回】7月24日(日)【第3回】8月28日(日)【第4回】9月18日(日) 【第5回】10月23日(日)【特別編】11月27日(日) 第1回～第5回 13:00～16:00 特別編 13:00～15:00		
講 師	シアター・プロジェクト・奈良 芸術監督：山吹草太、同代表：なかもとみゆき		
形 態	ワークショップ		
参加者	延べ83名		
目的	コミュニケーション力と表現力を向上させる手法として企業や教育等で注目されている「俳優訓練」の要素を取り入れたワークショップを開催。参加者のコミュニケーション力・表現力アップを図り、ひいては市民活動の発展に寄与する。		
概要	コミュニケーションゲームやイメージングゲームを通して、自分のコミュニケーションの問題点やよりよいコミュニケーションについてのヒントを得る。		
参加者の声	今後どういう場面で活かせそうか？	会場の様子	
<ul style="list-style-type: none"> ・思いの伝え方、感じ方の感性をみかくことは何か丁寧に生きることなのかなあと思った。 ・言葉の難しさを感じた。他の人と協調することを忘れずに、自分を出していこうと思った。 ・周囲をよく見て理解した上で、自身の想いや個性をはっきり出すことのバランスの重要性に気づいた。 ・自分の価値観を押し付けがちだということに気づいた。 ・自分自身でハードルを高くして、常にプレッシャーを感じていることが改めてよく分かった。大変ためになり、かつ楽しいワークショップだった。 ・日常生活もある意味演技の一部なのかなあと感じた。 ・自分なりにうるところがあり、とてもよかった。 ・このような講座、初めてで生活にも役立つようになると思う。もっとしてほしいと感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの中で話をしてみたい。 ・自分の動作をよく観察する時。 ・ボランティア活動に活かしていきたい。 ・知らない方と何か一緒にする時に生かせたらなど。 ・自分を見つめなおす時。 ・毎日の生活の様々な場面で、活かせそう。 ・生きていく中で、いろいろな場面で今回のワークショップの内容で思い出すシーンがたくさん出てくると思う。 ・日常の無意識に過ごしている時間に自覚が生まれると思う。 ・放課後等児童デイサービスの子もたちと接するのに活かせそうだ。 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">  </div>	

HUG²祭り～つながる・つたわる・ひびきあう～

日時	平成28年11月27日(日) 10:00~15:00	
サポーターズ会議	第1回平成28年5月21日 第2回6月25日 第3回7月23日 第4回9月24日 第5回12月22日 全5回 延べ53名	
形態	フェスティバル ①HUG ² 市場 ②相談・体験コーナー ③ステージ発表 ④演劇に学ぶコミュニケーションワークショップ	
参加者	793名 出展・出演団体 47団体 市民ボランティア 当日12名 事前活動35名	
満足度	ステージ 79% ブース 76% 来場者アンケートより (回収総数: 173名)	
目的	市民の方を対象に、ボランティアや市民公益活動の魅力をさらに深く知ってもらい、ボランティアや社会貢献に参加するきっかけをつくり、市民活動団体のPR、活動資金を獲得する場、他団体の活動にふれ同士の情報交換や交流を深める機会とする。	
概要	①HUG ² 市場 市民活動団体の日頃の活動発表、団体の本来事業やそのPR、また物品の販売や寄附等の活動資金集めをする機会として魅力あふれるPRやパフォーマンスを行う。 ②相談・体験コーナー パソコン何でも相談・おはなしの会・おりがみ教室・ストップ温暖化・足の計測や相談等 ③ステージ発表 和太鼓・男声コーラス・オカリナ演奏・キッズチアダンス・バンド演奏・相撲甚句	
	アンケート調査結果	会場の様子
	<p>【出展団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しいお祭りで、来年も参加したい。 ・ボランティア活動家達に多く出会って参考になった。 ・思っていた以上にお客さんが来てくださって参加してくださいました。多くの方に広報できたのでよかった。奈良市ポイントラリーも賑わい、効果的に感じた。 ・年々よくなってきたように感じる。 <p>【ステージ出演団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音響はリハーサル時に詳しく打ち合わせが出来たので 安心して本番に臨むことができた。MCさんにもリハーサルに参加して頂きたかった。 ・楽しんで演奏できメンバーも喜んでた。よく準備されたスタッフの皆様に感謝。 ・「HUG²祭り」出演するという目標に向かって、皆と一緒に頑張ってきた事はスキルアップという大きな力になった。 <p>【来場者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイント制度のおかげで様々なボランティア活動を知ることが出来た。 ・初めて参加した。とても楽しく勉強になった。来年も来たい。 ・これだけの催し物、たくさんの人たちの能力と、ボランティアの方々が集まりできたものだと思う。 ・体を動かす体験があっても楽しいと思う。チラシをたくさんもらったので家で見る。 ・奈良にもいろいろな活動があることを知れた。 	   

NPOとボランティア団体パネル展

日 時	前半クール	クール	期間	搬入	搬出
		1	平成28年 5月 7日～平成28年 6月 4日	5月 7日	6月 4日
		2	平成28年 6月 4日～平成28年 7月 2日	6月 4日	7月 2日
		3	平成28年 7月 2日～平成28年 7月30日	7月 2日	7月30日
		4	平成28年 7月30日～平成28年 8月27日	7月30日	8月27日
		5	平成28年 8月27日～平成28年 9月24日	8月27日	9月24日
	6	平成28年 9月24日～平成28年10月22日	9月24日	10月22日	
	後半クール	7	平成28年10月22日～平成28年11月19日	10月22日	11月19日
		8	平成28年12月 3日～平成29年 1月 7日	12月 3日	1月 7日
		9	平成29年 1月 7日～平成29年 2月 4日	1月 7日	2月 4日
10		平成29年 2月 4日～平成29年 3月 4日	2月 4日	3月 4日	
形 態	前半クールと後半クールにわけて、10クール展示。1クール8団体ずつ展示				
参加者	展示希望団体				
満足度	団体：展示期間、展示スペース「ちょうどよい：100%」一般：アンケート参照				
目的	奈良市を中心に活動するボランティアグループやNPO、市民公益活動団体の活動について、市民にその意義をより深く理解していただき、広くボランティア、NPO活動などへの関心を深めていただくというものです。				
概要	パネルに各団体の創意工夫を凝らして展示をして頂く。高さ180cm×横150cm 机希望により1台貸し出し。ポスターは大型プリンターの印刷はパネル展に限り無料で印刷できる。				

アンケート調査結果

一般の方を対象としたアンケート結果

20代未満	2
20代	5
30代	9
40代	25
50代	40
60代	74
70代	137
80代以上	56
未記入	3
合計	351

①ボランティア・NPOなどに興味がある	229
②ボランティア・NPO 活動をしたいと考えている	23
③ボランティアしてくれる人や団体を探している	10
④当センター以外の施設の利用のため	64
未記入	25

①参考になった	278
②どちらともいえない	58
③参考にならなかった	4
未記入	11

(団体からの悩みの共通点など)

会員が増えない・会員の減少高齢化・委員のなり手がなく、活動できる会員が少ないこと。
 経費全般の調達・プロモーションの方法
 運営資金が足りない(主に事務所費 家賃他)
 認知、理解がまだあまり広がっていない。
 ホームページ以外に、PRの手段が見つけられない
 受講希望者募集他苦慮している。
 次にバトンタッチできる若い人が少ないこと

会場の様子




パネル展の全体の様子

○各団体の展示例



井炉端サロン

日時	平成28年6月4日(土)、7月30日(土)、9月24日(土)、平成29年1月7日(土) いずれも午後の1時間程度
形態	なし
参加者	27名
目的	各団体間、および各団体と当センターボランティアコーディネーター間の交流を図ることにより、活動団体の今後の活動、当センターの事業・サービスの向上につなげる。
概要	パネル展入れ替え日を開催日とし、主にパネル展出展団体やその団体に関心がある市民が参加。団体の活動内容や個人の公益活動について語りあい、耳を傾ける機会となった。少人数で、密度の濃い交流ができた。

担当者の所感より	会場の様子
<ul style="list-style-type: none"> ・分野ごとに集まった方がよいのではという意見をいただく。毎回参加したいなど、団体アピールできる場を設けたことに喜ばれる。少ない団体参加だったので、1時間でなんとか行けたが、参加団体が多ければ担当者のスキルも時間も必要になる。 ・あっという間の1時間だった。自己紹介&団体紹介で約20分、その後のテーマに関する話し合いでも、一巡したところで終了時間になってしまった。テーマを深く掘り下げる時間はなかったが、各団体とも、互いの課題や解決方法などを話したり聞くことによって、参考になる部分も多かったのではないかと思う。一般市民の参加者も熱心に話を聞いていて、終了後は結婚教育カウンセラー協会に個別で相談をおこなっていた。 ・参加者から、いい集まりだと思うのでもっとフェイスブックやツイッター等も活用して宣伝したらという提言をいただいた。参加者間で相手と繋がるには、どういう方法があるかと探っている様子もみられ、支援センターとして当企画の意義も感じられた。 ・当日始まる時間の直前まで、参加される方があるかどうか分からない状態であったが、ふたを開けると5団体6名の参加で、それぞれ自分たちの活動に精魂を傾けていらっしゃるだけあって、話を始めると熱を帯び、予定時間を大幅に超えるほどであった。・それぞれの団体に共通する課題は、いかに広報するか・知っていただくために何ができるかということであった。お互いに協力し合おうという雰囲気が出たことがよかったと思う。その中で、HUG2祭りの集客についても、もっと方法がないかとの意見が出て、来年度のサポーターズ会議に是非参加してほしい旨を伝えた。 	

小学生ボランティアクイズ

日 時	平成 28 年 7 月 10 日（日）～平成 29 年 3 月 31 日（金） 開館日の 10:00～16:00
参加者	22 人（平成 28 年 7 月 10 日～平成 29 年 2 月 13 日 時点）
内 容	子どもたちにミッションとして館内に隠されたボランティアに関するクイズを探して答えていく。

絵本リサイクル・リユース

日 時	随時
寄 贈	850冊（75人）
持ち帰り	606冊（329人）
内 容	読まなくなった絵本をセンターに持ってきていただき、絵本補修ボランティアによる補修をした後、棚に並べ自由に持って帰ってもらう。

センター登録ボランティア

募集方法	「しみんだより」で募集、ボランティア入門講座に案内など。
登録者数	36名
内 容	ボランティア募集情報の製本やHUG ² 祭りの缶バッジ作成、当日パンフ作成、HUG ² 祭り当日手伝いなど